

4月放送総局長定例記者会見要旨

**(1) <開発番組>大型連休中の特集番組について (正籬放送総局長)**

NHKでは今年度、総合テレビのゴールデン・プライム帯を、「“新しいNHKらしさ”を追求する番組開発ゾーン」と位置づけた。次代の看板番組を目指した、さまざまな番組を放送していく。

第1弾として、大型連休に、多彩な5つの番組を放送する。新しいスタイルの教養番組から、新機軸のドキュメンタリー、SDGsをテーマにしたエンターテインメント番組まで、視聴者の皆様楽しんでいただければというラインナップだ。

5月5日放送の「いとしの地球アワー」は、SDGsをテーマに、親子で見ていただきたい新しいエンターテインメント番組。「宇宙のとある星で放送されている地球情報番組」という設定でお送りする。動物たちが勝手に放題の人類を訴える、という法廷ドラマもあり、薬師丸ひろ子さんが、ミジンコ裁判長として声の出演をする。動物たちの目線から、私たちが日々何気なく繰り返している行動が、同じ地球上の生き物にどんな影響を与えているのか、浮かび上がらせていく。また、俳優の安田顕さんが宇宙人キャスターに扮し「宇宙人が見る地球の人気番組」という視点で、SDGsの考え方を楽しくお伝えする。

新しいスタイルの教養番組として放送するのが、5月4日の「へい!モンジュ～迷えるわたしに教養を～」。タレントのSHELLYさん扮する、智慧を司る菩薩モンジュさまが、驚きに満ちた学問の最前線を、ポップに楽しくご紹介する。よりよく生きるためのヒントを“教養”の中に見つけ、お伝えしようという番組だ。

また、5月3日放送「あのとき、タクシーに乗って」は、タクシーの車内に固定カメラを据え、乗客とタクシードライバーが交わす会話から人生の物語を紡ぐ、新しいドキュメンタリーだ。

このほか、トラブル多発時代をサバイブするためのスキルや予防策をお伝えするトラブル救済番組、人々を悩ませる問題を発想の転換で乗り越える新しいクイズ番組を放送する。

(詳細は報道資料を参照)

**(2) <NHK・SDGsキャンペーン>**

**未来へ17action 驚きの地球、生きもの、大自然!見て、楽しんで、未来へつなげよう!**

(正籬放送総局長)

次に、「未来へ17アクション」について。今年1月にスタートし、環境問題を中心に、福祉、貧困など、SDGsのさまざまなテーマでお伝えしてきた。大型連休期間中は、「驚きの地球、生きもの、大自然!見て、楽しんで、未来へつなげよう!」をテーマに、SDGsの17の開発目標にある「海の豊かさ」、「陸の豊かさ」、そして環境に目を向けていく。

生きものを見つめてきた人気番組「ダーウィンが来た!」は、今年で放送開始から15年になる。今、絶滅の危機に瀕しているとされる生き物は、世界で3万種以上。5月5日放送「ダーウィンが来た!15周年スペシャル」では、ツシマヤマネコやライチョウなど、生きものたちを絶滅から救おうとする活動の最前線に迫る。

5月1日から5日まで、ラジオ第1では、「子ども科学電話相談」を放送する。子どもたちが“生物多様性”に目を向ける機会にしてもらおうと、生きものに関する質問を集中して取り上げ、第一線の科学者たちが、子どもたちの鋭い質問に全力で答える。

5月4日「みどりの日」には、BS8Kで、午前10時から午後6時30分まで、8K初のテレソン、「きょうは一日“里山”デー」を放送する。千葉県市原市からの生中継で、新緑の里山の絶景を堪能いただきながら、豊かな生きものの営みや、人と自然の共生について考えていく。

そのほか、さまざまな番組で、生きもの、自然、環境を取り上げ、SDGsを考える機会としていく。

(詳細は報道資料を参照)

### (3) 総合 NHKスペシャル

「パンデミック 激動の世界 第10回 迫る“介護崩壊”誰が老後を守るのか」 (小池副総局長)

来月23日に放送するNHKスペシャル「パンデミック激動の世界」についてご紹介する。新型コロナウイルスが突きつけた、さまざまな課題を検証するこのシリーズ。今回のテーマは、「高齢者介護」。身体的な接触が避けられない介護の現場では、感染対策と丁寧なケアとの両立に苦慮している。利用控えによる介護事業所の経営難や、ヘルパーの離職などによる人手不足といった課題も深刻化し、介護崩壊の危機が叫ばれている。そうした中、独自の財源を投入して介護サービスを提供する北海道幌加内町など、各地で、試行錯誤の取り組みが始まっている。どうすれば、老後の暮らしを守っていけるのか。大越健介キャスターが、国内外の先進事例や専門家を取材し、具体的な処方箋を探る。

(詳細は報道資料を参照)

### (4) Eテレ「香川照之の昆虫すごいぜ！春だよ！課外授業はテントウムシ」 (若泉副総局長)

Eテレからは、春の特集番組「香川照之の昆虫すごいぜ！」をご紹介する。「春だよ！課外授業はテントウムシ」と題して、テントウムシの秘密に迫る。俳優の香川照之さんがカマキリ先生に扮し、「人間よ、昆虫に学べ！」をテーマに探究するこの番組は、2016年の初回放送から6年目。今回、カマキリ先生と子カマキリ役の寺田心さんが、初めて一緒に昆虫採集に出かけ、虫捕り対決を繰り広げる。カマキリ先生の授業では、おなじみの「ナナホシテントウ」のほかにも、多彩な種類のテントウムシを紹介するほか、背中模様秘められた理由や、脚から出す謎の汁、意外なごはん事情など、テントウムシの生態を熱く伝える。なお、WEBサイト「NHK for School」では、これまで放送した「昆虫すごいぜ！」を見ることができるほか、今回の番組も再放送後に配信する予定だ。

(詳細は報道資料を参照)